

# 海外7冠受賞!

フランス ニース国際映画祭 最優秀音響賞  
 ドイツ ハンブルク日本映画祭 特別芸術賞  
 スペイン マドリッド国際映画祭 最優秀VFX賞  
 アメリカ サウステキサス国際映画祭 グランプリ  
 フィリピン セブ国際映画祭 グランプリ  
 インドネシア ジャカルタ国際フィルム&アート映画祭ゴールドアワード  
 イギリス カーディフ国際映画祭 審査員特別賞

すべて  
 の  
 恋  
 人  
 たち  
 と  
 未  
 だ  
 知  
 ら  
 ぬ  
 恋  
 人  
 たち  
 へ  
 た  
 ち  
 と

## 出会わない恋人たちと まだ知らない恋人たちへ

### STORY

「起きてないことはすべて、起こり得るってことだから。  
 気づいてないだけで」

東京、現在。  
 NASAが太陽系内に生命体が存在する可能性のある新惑星・エマノンを発見したと発表。衝撃的なニュースは世界中を駆け巡り新惑星ブームが到来するが、異常気象が頻発するようになる。

旅行代理店でアルバイトをしながら、大学で理論物理学を専攻している大学院生・ミカ(稲村梓)は、失踪した恋人・テル(高橋卓郎)のことが忘れられない。出会い系アプリで男を漁り孤独を埋めつつ、妄想でテルと会話している。そんなミカを、親友のゲイ・ンゲ(芳野正朝)や、研究室の先輩・高山(佐藤暁)は心配している。

ある日、ミカは発作的に既視感を覚え、もう一人の自分と出会ってしまう。テルの親友・バード(今村怜央)は、それぞれ本来は違う世界線の存在で、パラレルワールドが交錯しているのはエマノンの影響がもしれない、と語る。やがてミカたちは、人生を変える選択を迫られる…。



### INTRODUCTION

東京国際映画祭ほか世界各国の映画祭で絶賛された『アウ・ブリーフ・エタニティ』の福島拓哉による、8年ぶりのオリジナル長編。

鬼才・俊英・インディペンデントの雄など、その独自の活動から様々な言葉で形容される映画監督・福島拓哉。16年には傑作選15本の特集上映が組まれるなど、90年代から20年以上に渡る活動が、インディペンデントシーンで支持され続けている。

最新作『モダン・ラブ』は、愛する恋人を失った女性の孤独を描くサイコ・ファンタジー作品であり、心に刺さる痛々しい青春映画である。

主演はTOKYO FM『NISSAN あ、安部礼司』や、つかこうへい作品など演劇界で大注目の稲村梓。恋人役には福島作品常連の高橋卓郎。他に川瀬陽太、草野康太ら日本映画に欠かせない俳優陣が脇を固め、ロックバンド・The John's Guerrillaの今村怜央が物語の鍵を握る重要なキャラクターを演じている。

SFかつ哲学的、予測不能の奇想天外な物語が「真実の愛とは何か」を投げかける、見たこともないエンターテインメント作品が誕生した。

### COMMENT

終末の世界観を表現し続けてきた福島拓哉は、その絶望をテーマにしているわけではない。立ち向かう強さと魂の再生をもたらす真実として、何度も何度も(本当に)、愛を描き続けているのだ。

マーク・サン・シール (映画評論家)

うつろいやすい「恋愛」のランデブー状態や絶頂を永遠に留めるその方法とは… 現代における永遠性の問題を真正面から捉えた力作である。

ヴィヴィアン佐藤 (ドラッグクイーン/美術家)

気が付いていませんが、もしかしたら、私にも私の私がいるのかも知れません。

後悔ばかりしてる私は「あの頃に戻れたら」脳がたまに発動します。自分と対峙するの、怖いけど。新しいものを選ぶの、怖いけど。

後藤まりこ (ミュージシャン)

福島拓哉は普通の監督が描かない領域に踏み入っている。人間的な感情や苦悩の中に存在する、異質で、複雑かつ抽象的な世界の領域だ。

デビッド・ポウンティン (Filmdo編集長)

新しい物語と映像美を生み出す才能に恵まれた福島拓哉を堪能できる、ものすごい作品である。

ピーテル・ヤン・ヴァン・ヘッケ (映画評論家)

6月1日(土)～6月7日(金) 連日 12時45分より上映  
 一週間限定公開 初日舞台挨拶など期間中毎日イベントあり!

川崎市元町1-1-1 時の鐘ちかく

越入カラ座  
 tel/049-223-0733  
 http://www.k-scalaza.com

感動を超えているロードショー。